テキスト翻訳機説明書

（日本語版）

1. 安全上のご注意

この度はテキスト翻訳機をお買い上げ頂き有難うございます。

ここには、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害、本機の故障を未然に防止するための注意事項を記載していますので、必ずお守りください。

1.1 本体取扱い上のご注意

- 万一、異常な匂いがしたり、発熱・発煙した場合はただちに電源を切り、当社までご相談ください。火災や故障の恐れがあります。
- 本機を分解したり、修理したりしないでください。保証範囲外になります。
- 本機は精密機械ですので強い衝撃を与えたり重いものを乗せたりしないでください。
- 本機を濡らしたり、湿度の高いところで使用・保管したりしないでください。
- 本機をベンジン等の溶剤や水等で濡れた布で拭かないでください。
- 直射日光の強いところや高温下で使用・保管しないでください。
- 子供の手の届かないところで使用・保管してください。けがや事故の原因になります。
- 電子機器の使用が制限されている場所で使用しないでください。
- 自動車、自転車などの運転中に使用しないでください。
- この取扱説明書をお手元に大切に保管して注意事項をお守りください。

1.2 電池取扱い上のご注意

電池の取扱い方を間違えると、液漏れや破損などにより、機器の故障や事故の原因となりますので、下記取扱い方法を守ってください。

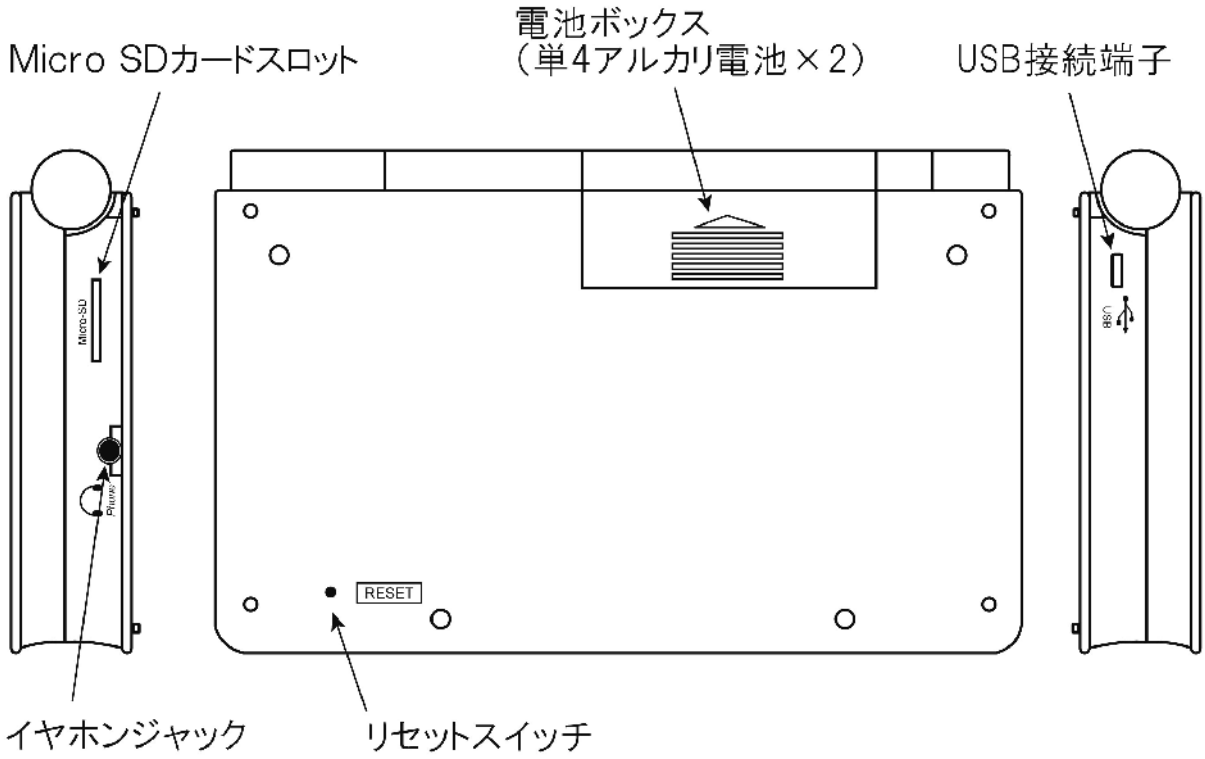
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- ショート(短絡)させたり分解しないでください。液漏れ・発熱・破裂等の原因になります。
- 熱を加えたり、火の中に入れたりしないでください。液漏れ・発熱・破裂等の原因になります。
- 水などに濡らさないでください。液漏れ・発熱・破裂等の原因になります。
- 万一、液漏れを起こして目や口などに入ったり場合や皮膚や衣服等に付着した場合は、きれいに水で洗い流して、すぐに医師の治療を受けてください。
- 使用できる電池は単4アルカリ電池×2本です。
- リチウム電池や充電池等は事故や故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 電池交換時は2本同時購入した新品アルカリ電池を使用してください。
- 消耗の度合いが異なるアルカリ電池を混在させて使用しないでください。

2. 仕様一覧

録音機能	wav 形式　容量:50MB（約 20 分）
記録機能	ユーザ辞書 検索履歴 お気に入り機能（検索結果登録）
サイズ表	衣服（アメリカ,イギリス,日本,ドイツ（女性のみ）,ヨーロッパ） 靴（アメリカ,イギリス,イタリア,日本,フランス,スペイン）
計算機能	時差計算機能 12 桁メモリー機能付き電卓 度量衡変換（温度、長さ、面積、重量等） 通貨変換（8種設定可能）
ゲーム	3種類
外部接続	USB （対応 OS:Windows XP / 7 ）
表示	119×120 DOT MATRIX バックライト付き
サイズ	81（W）× 131（D）× 20（H）[mm]（凸部を除く）
重量	約 202g（ 電池重量を含む ）
電源	単 4 アルカリ電池（AAA）× 2 USB電源
付属品	操作ガイド（日英）（取扱説明書は英語版を本体に内蔵） USB接続ケーブル イヤホン 単 4 アルカリ電池 × 2＊ ＊付属の電池は動作確認用です。電池寿命が仕様より短い場合があります。

3. 各部の名称

3.1 接続・電池・リセットスイッチ



電池ボックス

本機に使用できる電池は単4アルカリ電池×2本です。他種の電池（リチウム電池や充電池等）は使用できません。

リセットスイッチ

本体背面のリセットスイッチをペン先などで押すと、工場出荷状態に戻ります。
メニュー表示言語を読めない言語に設定してしまった場合や動作が不安定になった場合などにこのボタンを押すと、本体がリセットされ、工場出荷後最初に電源を入れた時の状態に戻ります。

USB接続端子

付属のUSBケーブルでパソコンと接続するとUSBから供給される電源で動作することができます。また、接続時にUSBモードを選択するとボイスレコーダー機能で録音したファイルをパソコンで読み出すことができます。

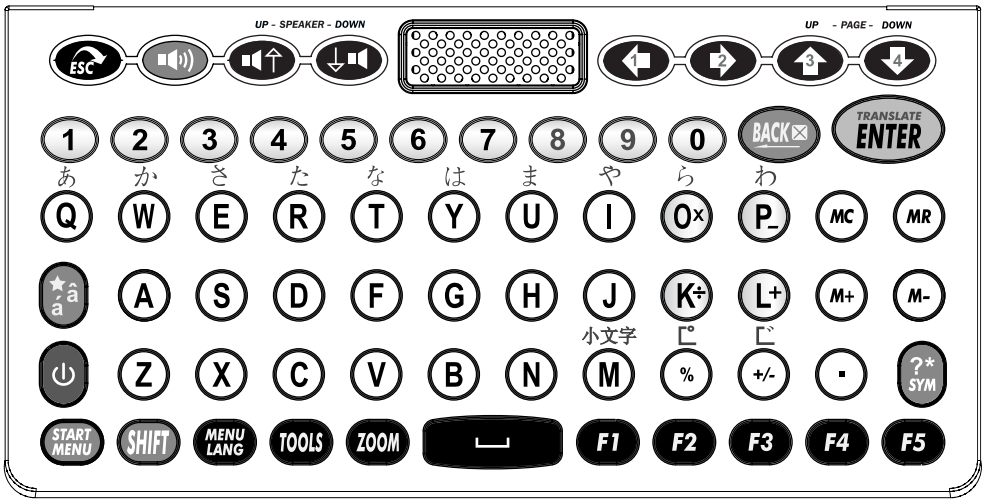
イヤホンジャック

付属のイヤホンを接続すると、収録している音声をより良い音で聞くことができます。

Micro SDカードスロット

MicroSD カードの英語テキストファイル（*.txt（文字コード：EUC））を表示することができます。

3.2 キーボード



電源スイッチ

START MENU：初期画面（テキスト翻訳の言語選択画面）を表示します。

言語入力方法（入力日本語入力時は、かな入力／ローマ字入力）を切換えます。
アクセント記号のある言語入力時はアクセント記号を入力します。
辞書表示中はその単語を「お気に入り」に登録します。

SHIFT：大文字小文字を切換えます。

MENU LANG：設定言語（メニューに表示する言語）の選択画面を表示します。

TOOLS：各種機能の選択メニューを表示します。

ZOOM：文字を拡大表示します（翻訳機能・辞書機能使用時）。

ESC：ひとつ前の画面に戻ります。

（音声を収録している）単語・文例をネイティブ音声で読み上げます。

上下方向に1行スクロール表示します。カーソルを上下方向に移動します。

カーソルを左右方向に移動します。

上下方向に1頁スクロール表示します。カーソルを上下方向に移動します。

BACK：文字入力時にカーソルの前1文字を消去します。

ENTER：決定・実行　翻訳や計算を開始します。

記号文字を入力します。

F1 F2 F3 F4 F5

F（Function）キー　画面下部に反転表示する機能に割り振られます。
表示がない場合は機能しません。

4. 設定言語（メニュー表示言語を日本語に変更する）

電池交換後の初回電源投入時、リセット起動時、電池動作時のオートパワーオフ後と長時間オフ後の起動時には、設定言語（操作メニューに表示する言語）の選択画面を表示します。
言語はそれぞれの言語の文字で表示されます。

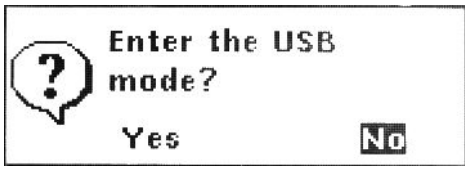
1 2 3 4 で日本語を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、テキスト翻訳のメインページを日本語で表示します。

別の言語に設定するには MENU LANG を押して、同様に設定言語を選択します。他の言語を選択して、メニューが読めなくなってしまった場合なども、 MENU LANG を押して再度設定言語を選択してください。

5. USB電源・PCアクセスについて

本機はUSBからの電源供給に対応しています。

付属のUSBケーブルで電源供給可能なパソコンのUSBポートに接続してください。



USBケーブルでパソコンと接続して電源が供給されると、言語選択の後「Enter the USB Mode?」と表示しますので、そのまま「No」を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、USBから供給される電源で動作します。

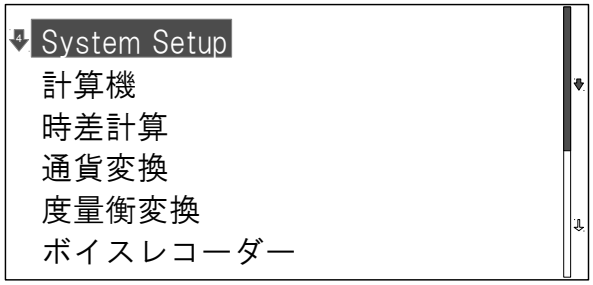
パソコン（Windows 7 / Xp）からアクセスして本機のメモリにアクセスする場合は「Yes」を選択して TRANSLATE ENTER を押します。リムーバブルディスクとして認識され、ボイスレコーダー機能（→P.18）で録音した WAV ファイル等を読み出すことができます。パソコンからのアクセスについては、本体に内蔵している取扱説明書（→P.8）をご参照ください。

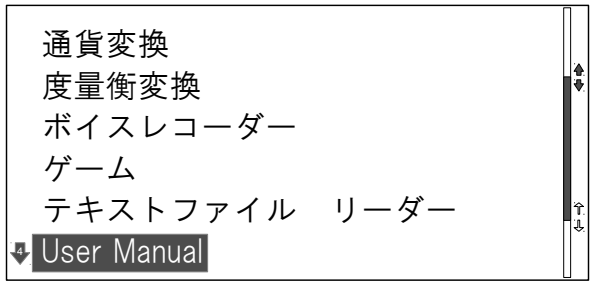
パソコンではなくUSB電源機器に接続した場合は USB Mode 選択画面は表示しません。

長時間使用したい場合など電池の消耗を気にせずに使用できます。また、USBから電源が供給されている場合はオートパワーオフ後と長時間オフ後の起動時にも前回終了画面を表示します。

6. 内蔵取扱説明書(英語)について

1. TOOLS を押して機能サブメニューを表示します。
2. ↑ ↓ 3 4 で「User Manual」を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、本体に内蔵している取扱説明書(英文)を表示します。
3. ↑ ↓ 3 4 で縦方向にスクロールして読んでください。



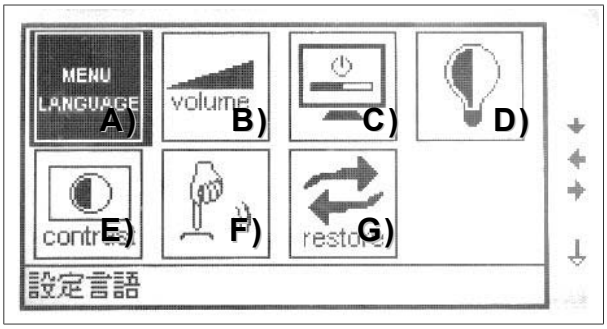


7. 設定

TOOLS を押して機能サブメニューを表示します。

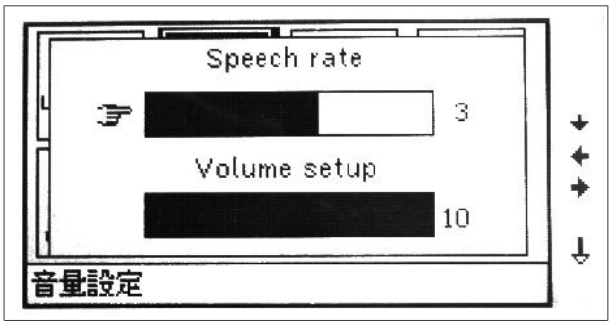
そのまま「System Setup」を選択して TRANSLATE ENTER を押すと機能設定のアイコン画面を表示します。

1 ↑ ↓ 2 3 4 でアイコンを選択して TRANSLATE ENTER を押すとそれぞれの設定画面を表示しますので、同様に設定項目を選択して TRANSLATE ENTER を押します。



A) 設定言語

「4. 言語設定」と同じです。画面に表示するメニューの言語を設定します。



B) 音量設定

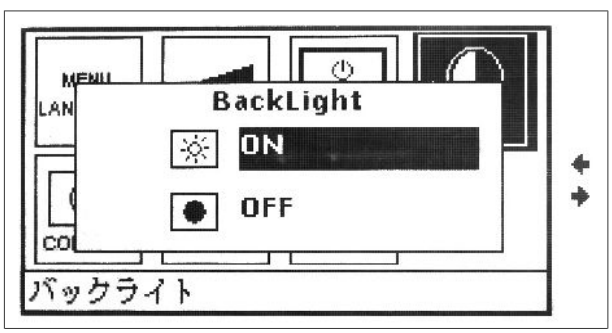
「Speach rate (音声速度)」または「Volume setup (音量設定)」を選択して、速度と音量を設定します。

C) オートパワーオフ時間

キー操作がないときに電源が切れるまでの時間を「3 Minutes (3 分)」、「5 Minutes (5 分)」、「10 Minutes (10 分)」から選択します。

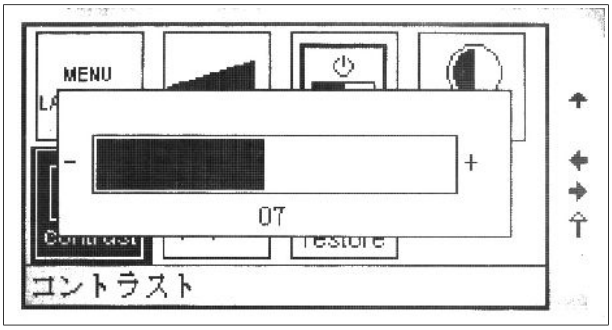
D) バックライト

液晶画面のバックライト(Back Light)の ON/OFF を選択します。電池を長持ちさせたい場合は OFF に設定してください。



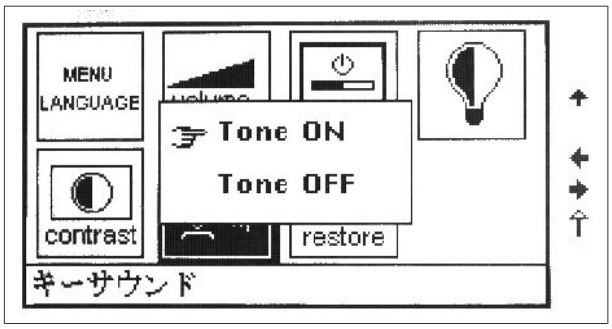
E) コントラスト

液晶画面のコントラストを 15 段階（1～15）で設定します。



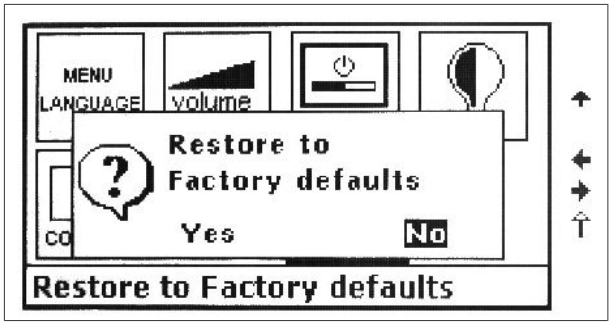
F) キーサウンド

「ピッ」というキー操作音の ON/OFF を設定します。「Tone ON」を選択すると ON、「Tone OFF」を選択すると OFF になります。



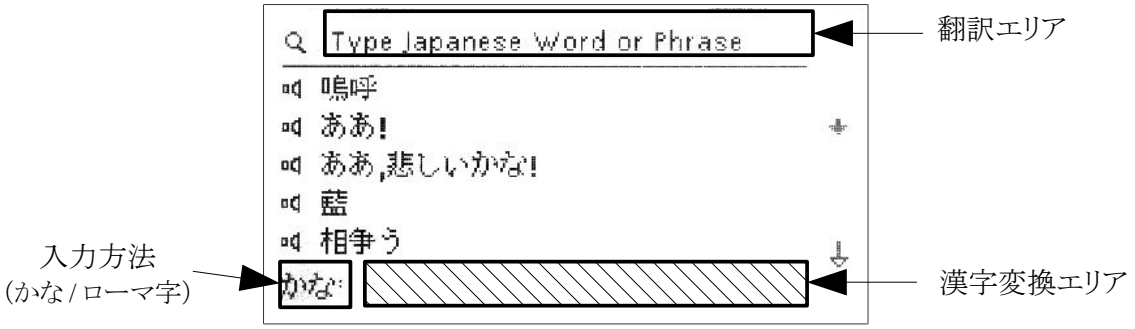
G) Restore to Factory default

「Yes」を選択してを押すと、全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。



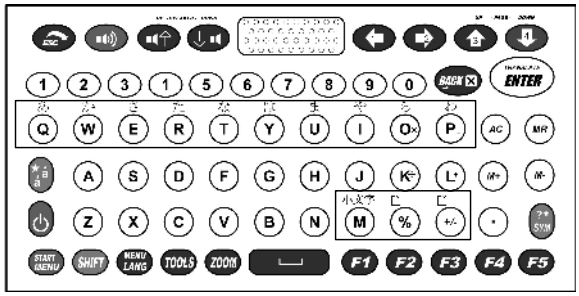
8. 日本語入力について

テキスト翻訳に入力する日本語文章は一度画面下部の漢字変換フィールドに入力した後、「かな」のまま、または「漢字」に変換して (TRANSLATE ENTER) で上部の翻訳フィールドに入力します。



8.1 入力方法

日本語入力の状態で (★â) を押すと、携帯電話のあかさたな入力と似た「かな入力」と「ローマ字入力」を切り替えることができます。



かな入力では「あ(Q),か(W),さ(E),た(R),な(T),は(Y),ま(U),や(I),ら(O),わ(P)」キーを使用して、携帯電話のかな入力と同様、"あ" を1回押すと「あ」、2回押すと「い」、3回押すと「う」というように漢字変換エリアに入力します。

濁点は「゛(%)」、半濁点は「゜(+/-)」、小文字は「小文

字(M)」キーで入力後に変換します。

ローマ字入力はローマ字表記のアルファベットを漢字変換エリアに入力します。

8.2 漢字変換

画面下部の漢字変換フィールドに入力したかな文字を単語・熟語に変換することができます。

漢字の読みを漢字変換フィールドに入力して [␣] を押すと単語・熟語のリストを表示します。

[1] [2] で漢字・熟語を選択して [TRANSLATE ENTER] を押すと文章フィールドに漢字・熟語が入ります。

テキスト翻訳の際、漢字混じりの文章の方が「かな」だけの文章よりも翻訳精度が上がります。

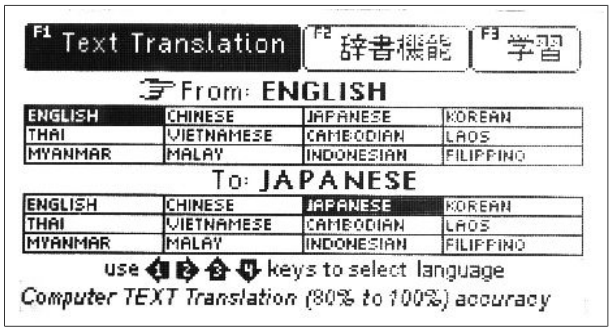
かな入力では「あい」のように同じ行頭文字を連続して漢字変換フィールドに入力することができませんので、このような単語・熟語はかな文字のまま翻訳を検索してください。

9. テキスト(文章)翻訳

任意の単語・文章を他の11ヶ国語に翻訳します。

1. キーボード左下の [START MENU] を押すと、入力言語と翻訳先言語を選択する画面を表示します(言語は機種によって異なります)。

2. [3] [4] で入力(From)と翻訳先(To)を切り替え、[1] [2] でそれぞれ言語を選択して [TRANSLATE ENTER] を押すと文章入力画面を表示します。

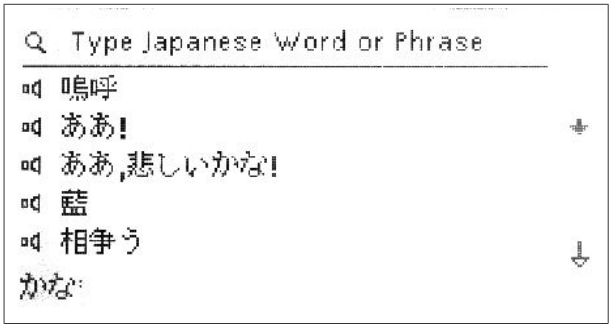


3. 任意の単語・文章を入力して [TRANSLATE ENTER] を押すと文例または入力した文章の翻訳を表示します。

   単語入力の場合は「入力した単語を含む文例」を収録順に表示します。

   文章入力の場合は、入力途中にその入力文字で始まる収録単語と文例のリスト(日本語入力で未入力の場合は「あ」から始まる単語・文例)を50音順に表示します。

   左端の 🔊 表示は、単語・文例がネイティブ音声を収録していることを意味し、[↑] [↓] で選択して [🔊] を押すと音声を聞くことができます。



4. Fキーの機能

Fキーは機能が画面下部に表示されない場合は無効です。例えば、音声が収録されていない単語や文章を表示しているときは F2 の機能は画面に表示されません。

a) F1 LANGUAGE（言語）

他の言語に翻訳します。翻訳を表示した状態で F1 を押して言語選択画面を表示したら ◀1 2▶ で翻訳先言語を選択して TRANSLATE ENTER を押すとその言語に翻訳します。

b) F2 VOICE RECORD（音声録音）

音声を収録している単語・文例を表示しているときは、ネイティブ音声の再生に続いて自分の音声を録音して、発音を比較練習することができます。

c) F3 SARCH DICTIONARY（辞書検索）

辞書に収録している言語に翻訳したとき、◀1 2▶ で翻訳文中の単語にカーソルを移動して TRANSLATE ENTER を押すと、収録している辞書の内容を表示します。

【注意事項】

- 主語などを省略した文章は、翻訳精度が極端に下がります。
- 日本語と他の言語間の翻訳精度は直訳レベルになる場合があります。
- 翻訳に時間がかかる場合があります（入力文章が長いと翻訳時間も長くなります）。
- 辞書を収録していない言語の文中にカーソルを移動することはできません。

10. 辞書機能

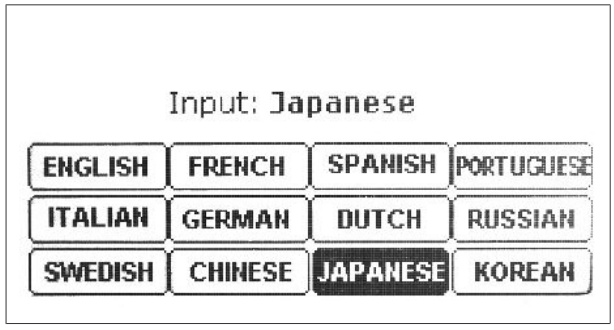
本機には仕様（P.2）の辞書を収録しています。

1. START MENU を押して初期画面を表示した後 F2 を押すと辞書のリストを表示します。
2. （右図は GT-V3a の画面です）
3. ◀3 4▶ で辞書を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、辞書の入力画面を表示します。

Multi Language Dictionary（COMET 12ヶ国語小辞書）

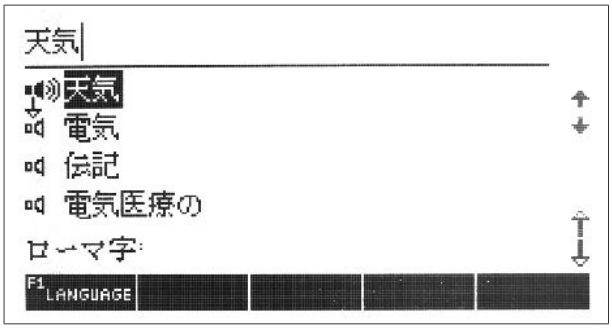
12ヶ国語小事典の機能は GT-V3i/a 共通ですが、言語が異なります。

1. 「Multi Language Dictionary 」を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、入力画面表示の前に入力言語選択画面を表示しますので、入力する言語を選択して TRANSLATE ENTER を押してください（例は GT-V3i）。

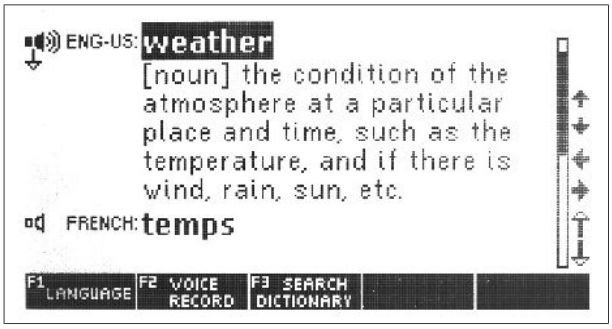


2. 単語を入力してを TRANSLATE ENTER 押すと辞書の内容を表示します。入力途中には入力中の文字で始まる単語を表示するので ↑ ↓ ← 1 → 2 ↑ 3 ↓ 4 で選択することもできます。

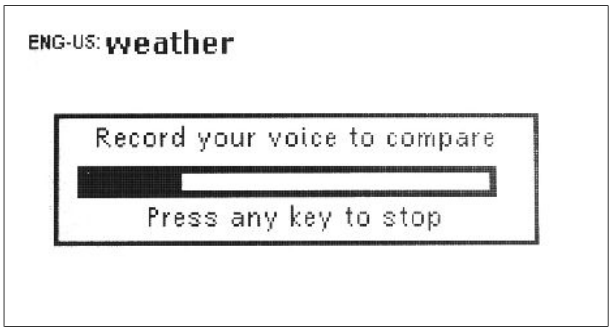
   左端の 🔊 表示は、ネイティブ音声を収録していることを意味し、↑ ↓ で選択して 🔊 を押すと音声を聞くことができます。



3. 他に辞書を持つ言語にカーソルを合わせるとに「F3 SEARCH DICTIONARY」が表示されます。← 1 → 2 で辞書の解説文内の単語にカーソルを移動して TRANSLATE ENTER を押すとその単語を他の辞書で検索することができます。



4. カーソルを合わせた単語の音声データを収録している場合は画面右端にを表示し、でネイティブ音声を聞くことができます。「F2 VOICE RECORD」も有効になり、ネイティブ音声に続いて録音し、発音練習することができます。



5. Fキーの機能

   Fキーは機能が画面下部に表示されていない場合は無効で、なにも機能しません。
   例えば、音声が収録されていない単語や文章を表示しているときは F2 の機能は画面に表示されません。

   a) F1 LANGUAGE（Multi Language Dictionary（COMET 12ヶ国語小辞書））
      翻訳先言語を選択します

   b) F2 VOICE RECORD
      音声を収録している単語・文例を表示しているとき、自分の音声を録音してネイティブ音声と比較します。
      F2 AMERICAN DICTIONARY / BRITISH DICTIONARY
      英英辞書使用時、Oxford 米語辞書 と Collins 英語辞書を切り替えます。

   c) F3 SEARCH DICTIONARY : 他の辞書でクロスサーチします。
      F3 EXAMPLE : 文例を表示します。

   d) F4 SYNONYM / ANTONYM : 同義語・反意語を表示します。

   e) F5 INFLECTION : 語尾変化を表示します。
      F5 PHRASE : 関連する文例を表示します。

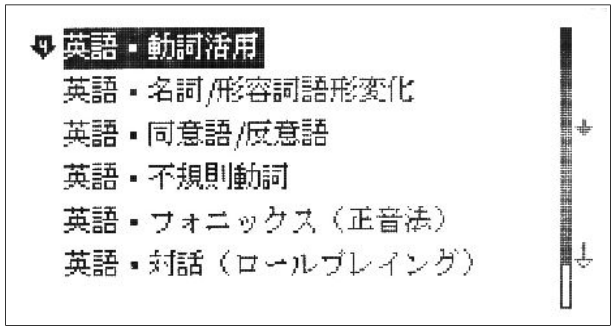
11. 学習機能

本機には英語学習のための7つのツール、他の言語学習にも有用な活用・語尾変化、会話・文例集を収録しています。

言語学習機能は機種によって異なります(右図は GT-V3a の例)。

1. START MENU を押して初期画面を表示した後、F3 を押すと学習機能選択画面を表示します(収録機能は機種によって異なります)。
2. 3 4 で機能を選択して TRANSLATE ENTER を押すと各機能の初期画面を表示します。

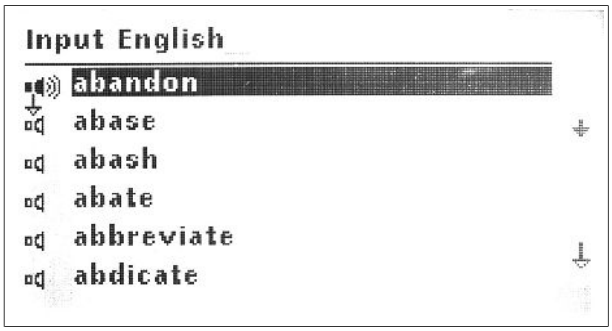
11.1 Learn English:英語学習



英語学習に便利な動詞活用、名詞/形容詞語形変化、同義語/反意語、不規則動詞、フォニックス(正音法)、対話(ロールプレイング)、Test(単語ゲーム)の7つのサブメニューがあります。

各機能の画面で、左端に表示される 🔊 は、単語・文例がネイティブ音声を収録していることを意味し、🔊↑ 🔊↓ で選択して 🔊 を押すと音声を聞くことができます。

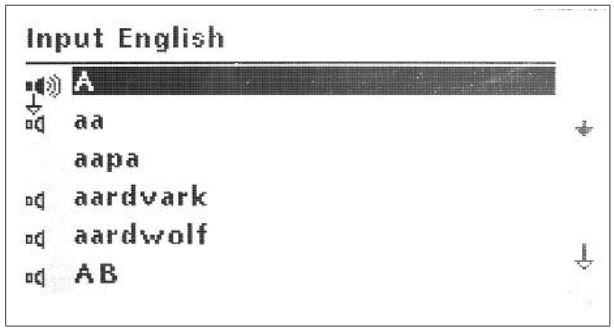
動詞活用



動詞を入力し、🔊↑ 🔊↓ 3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押すと、一人称・二人称・三人称・一人称複数・二人称複数・三人称複数の現在形文例を表示します。

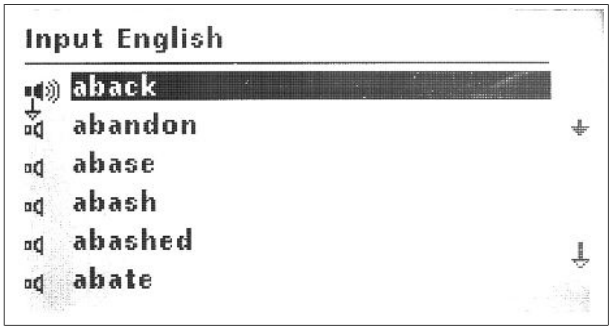
1 2 で現在形(Present tense)、現在進行形(Present continuous tense)、現在完了形(Present perfect tense)、過去形(Past tense)、過去完了形(Past perfect)、未来形(Future tense)、未来完了形(Future perfect tense)の文例を表示します。

名詞/形容詞語形変化



名詞・形容詞を入力し、🔊↑ 🔊↓ 3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押すと、名詞の場合は単数形・複数形、形容詞の場合は一般級(General)、比較級(Comparative) 最上級(Superlative)の変形を表示します。

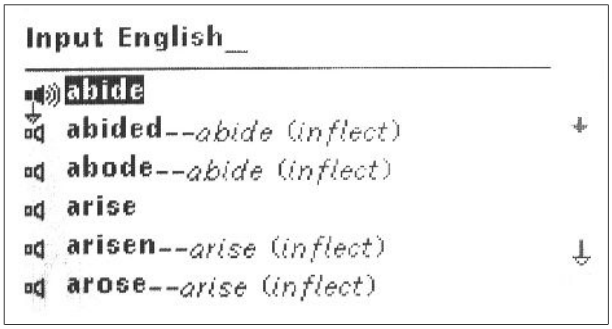
同意語/反意語(Synonym/Antonym)



単語を入力し、🔊↑ 🔊↓ 3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押すと、同意語と反意語を表示します。

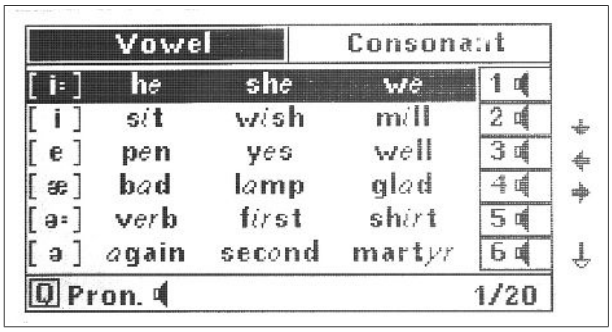
不規則動詞

動詞を入力し、[↑][↓][3][4]で選択して [TRANSLATE ENTER] を押すと、原形(Infinitive)、過去形(Past tense)、過去分詞(Past Participle)を表示します。



フォニックス(正音法)

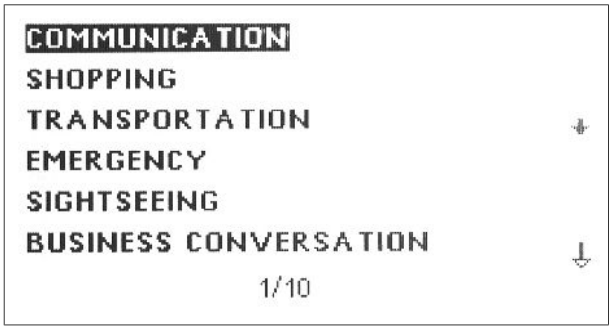
[↑][↓][1][2][3][4]で発音記号を選択([1][2]は母音子音のページ切換え)して [♪] を押すと20の母音(Vowel)、28の子音(Consonant)のネイティブ発音を聞くことができます。



対話(ロールブレイング)

2人の会話例が10のメインカテゴリー、67のサブカテゴリーに分類されてネイティブ音声付で収録されています。

[↑][↓][1][2][3][4]でカテゴリーを選択して [TRANSLATE ENTER] を押すと会話例を表示します(サブカテゴリーに複数の会話例がある場合はリストからさらに選択します)。



数字キー1～3で発声させる台詞を選択して [♪] を押すと会話のネイティブ音声を聞くことができます。

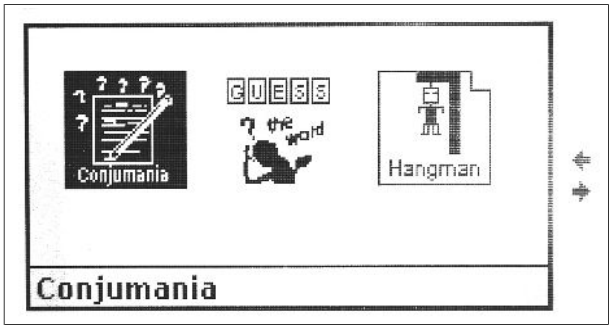
再生する会話内容を画面下部に表示したメニュー 1All | 2.Single | 3Select role から数字キーで選択することができます。

1. 表示している会話全てを連続再生します。
2. 表示している会話から1つの台詞を選択して再生します。
3. 表示している2人の会話から、片方の台詞を選択して再生します。

音声再生可能な状態で [TRANSLATE ENTER] を押すと、音量・再生速度の設定ができます。

Test(単語ゲーム)

[↑][↓][1][2][3][4]で"Conjumania","Guess the Word","Hangman" から1つを選択して [TRANSLATE ENTER] を押すとそれぞれの単語ゲームを開始します。



11.2 会話･文例集

本機には2つ（Collins と Comet）のネイティブ音声付文例集を収録しています。

Collins

文例数 :1言語あたり約 2,000

カテゴリー数 : メインカテゴリー×14、サブカテゴリー×71

Collins 版の英語･ポルトガル語･スペイン語には地域別言語（英語はイギリス･アメリカ、ポルトガル語は本国とブラジル、スペイン語は本国と南米）をそれぞれ収録しています。

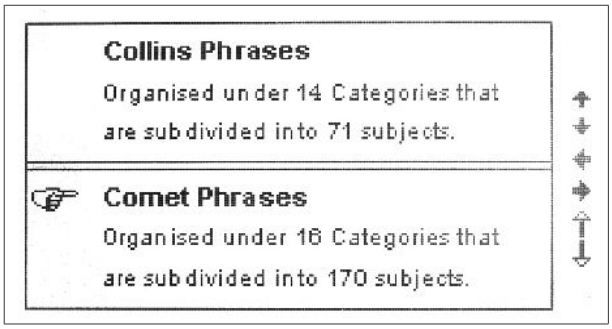
Comet

文例数 : 1言語あたり約 3,300

カテゴリー数 : メインカテゴリー×16、サブカテゴリー×170

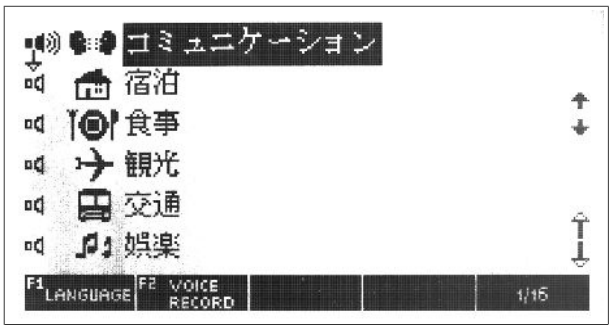
これらの文例は、テキスト翻訳の入力時に表示する文例として表示されますが、「学習機能」の「会話･文例集」メニューから起動すると、カテゴリー分類から直接文例を検索することができます。

1. 会話･文例集の初期画面で、Collins, Comet のどちらかを選択してを (TRANSLATE ENTER) 押すとカテゴリー名を表示する言語（英語表記）の選択画面を表示します。

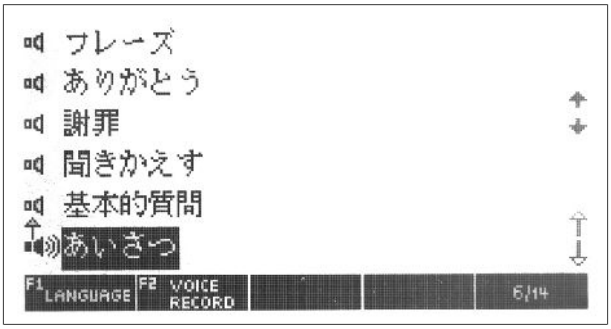


2. (↑) (↓) (3) (4) で Japanese（日本語）を選択して (TRANSLATE ENTER) を押すと日本語でメインカテゴリー一覧を表示します（画面表示の例は GT-V3i）。

3. メインカテゴリーを (↑) (↓) (3) (4) で選択して (TRANSLATE ENTER) を押すとサブカテゴリー一覧を表示します。



4. 同様にサブカテゴリーを選択して (TRANSLATE ENTER) を押すとサブカテゴリー内の文例を 12ヶ国語で表示します。



5. 文例を選択して を押すとネイティブ音声を聞くことができます。また、F2 で録音して発音を比較して練習できます。

6. F5 (⟶)でサブカテゴリー内の文例を収録順に文例を表示します。

7. 翻訳表示を翻訳元と翻訳先の2ヶ国語表示にしたい場合は、F1 で言語を選択します。「ALL」を選択すると12ヶ国語表示になります。

8. 辞書を収録している言語にカーソルをあわせると(反転表示)、F3 が有効になり、内蔵する辞書でクロスサーチできます。

F1 **LANGUAGE**：翻訳先の言語を選択します(ALL は 12 ヶ国語表示)

F2 **VOICE RECORD**：音声を録音、ネイティブ音声と比較します。

F3 **SEARCH DICTIONARY**：他の辞書でクロスサーチします。

F5 ⟶：次の文例を表示します。

11.3 User Dictionary (ユーザー辞書)

「単語の追加」、「お気に入り」、「履歴」の3つの機能があります。

サブメニューから 3 4 で機能を選択して TRANSLATE ENTER を押して各機能を起動します。

単語の追加(ユーザー辞書の参照・作成・削除)

ユーザー辞書に登録できる文字はアルファベットのみで日本語等の非アルファベット文字には対応していません。単語・意味・用法等の必要事項は全てアルファベットで入力します。

詳細は本体内蔵の取扱説明書(P.8)をご参照ください。

また、工場出荷時には「New Words」という辞書に「Template」という単語の登録例を収録していますのでご参照ください。

「単語の追加」を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、ユーザー辞書の一覧を表示します。

F1 **New**：新しいユーザー辞書ファイルを作成します

F5 **Delete**：選択したユーザー辞書ファイルを消去します。

「New Words」(登録例)を選択して TRANSLATE ENTER を押すとユーザー辞書の単語検索画面を表示し、アルファベットを入力すると登録した単語を検索します。単語の追加・編集・削除は F2 F4 F5 でそれぞれの機能を起動します。

F2 ADD　：単語を追加登録します。
F4 Edit　：選択している単語を編集します。
F5 Delete　：選択している単語を削除します。

お気に入り

辞書・文例集を閲覧中に ★â a で記録した「お気に入り」を登録順に表示します。

◀ ▶ 3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押すと辞書・文例を表示します。

削除する場合は、BACK を押して消去メニューを表示し、3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押します。

Delete entry?　：選択している1項を削除
Delete all entries?　：全登録を削除
Enter/Esc　：削除中止

履歴

検索した単語・文例の履歴を表示します。

◀ ▶ 3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押すと辞書・文例を表示します。

削除する場合は、BACK を押して消去メニューを表示し、3 4 で選択して TRANSLATE ENTER を押します。

Delete entry?　：選択している1項を削除
Delete all entries?　：全登録を削除
Enter/Esc　：削除中止

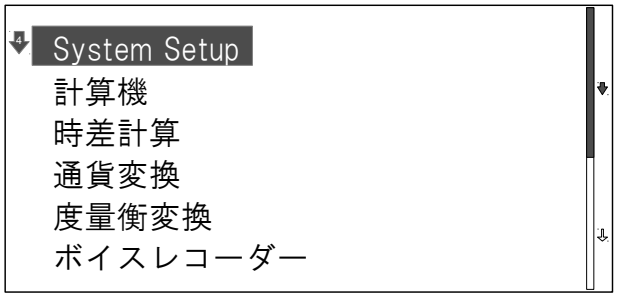
11.4 フランス語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・ドイツ語・ロシア語

詳細は本体内蔵の取扱説明書(P.8)をご参照ください。

にはフランス語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・ドイツ語・ロシア語の動詞活用と名詞/形容詞語形変化を収録しています。

メニューから言語を選択して TRANSLATE ENTER を押すと各言語の単語入力画面を表示します。辞書と同様に単語を入力して検索すると動詞活用と名詞/形容詞語形変化を表示します。

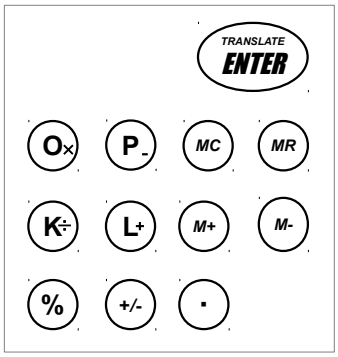
12. 計算機



TOOLS を押してメニューから計算機を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、Standard Calculator(電卓)、Sience Calculator(科学計算)の選択画面を表示しますので、どちらかを選択して TRANSLATE ENTER を押します。

Standard Calculator は電卓と同様の操作、Sience Calculator は数式を入力表示して

．(小数点)、＋、－、×、÷、%、＋/－、M＋、M－、MR、MC は右図のキーで入力し、TRANSLATE ENTER が通常の電卓の「＝」に相当します。



F1 :FUNC 関数
√, X^2, Ln, e^x, Log, 10^x, Sinh, Arsh, Cosh, Arch, Tanh, Arth, Sin, Sin^{-1}, Cos, Cos^{-1}, Tan, Tan^{-1} , X^y, $X^{1/y}$, X!, X^{-1}, $\sqrt[3]{}$, X^3 を選択して計算します。

F2 :D.G.R. Degree/Grads/Radian(角度単位)を切換えます。

F3 :AC

F4 :CE

13. 時差計算

TOOLS を押してメニューから時差計算を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、時差計算画面(英語表記)を表示し、City 1 の時刻を入力すると City 2 の時刻を表示します。

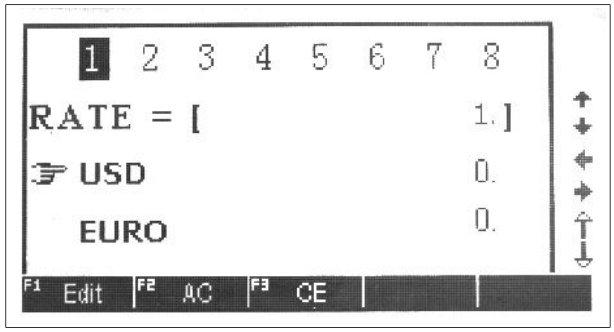
City 1/City 2 の都市名指定エリアの変更は ↑ ↓ 3 4 、都市名はアルファベットキー(頭文字)と 1 2 で選択します。

F1 :DST:ON/OFF
サマータイム設定の ON/OFF 設定

14. 通貨変換

TOOLS を押してメニューから通貨変換を選択して TRANSLATE ENTER を押すと、通貨変換画面を表示します。

8組(画面上部の1～8)の変換レートを登録でき、1 2 でレートを選択し、3 4 で入力通貨通貨を選択(☞)して数値を入力すると、もう片方の通貨に変換します。



F1 :EDIT 通貨レートを設定します。

F2 :AC 電卓の AC に相当します。

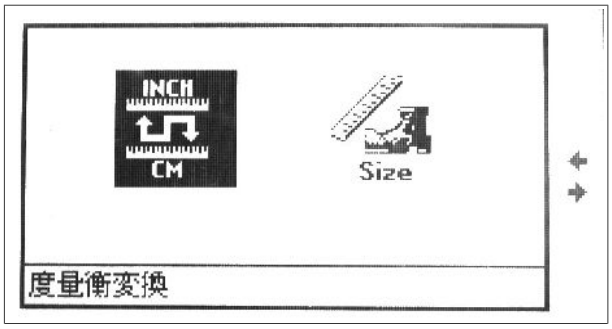
F3 :CE 電卓の CE に相当します。

工場出荷時の変換レートは1:1になっていますので、ご使用前に設定する必要があります。

変換レートの設定

1. 設定するレート(1～8)を選択して F1 を押すとレートが変更可能(反転表示)になります。
2. 数値を設定して TRANSLATE ENTER を押すとレートが設定されます。
3. 通貨名を変更する場合はで反転表示を通貨名に移動して入力します。

15. 度量衡変換

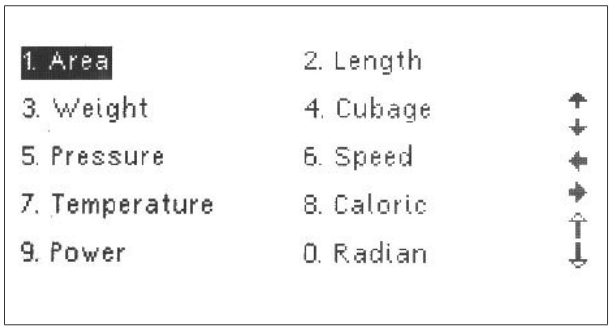


TOOLSを押して「度量衡変換」を選択して ENTER を押すと「度量衡変換」と「Size Conversion（サイズ表）」の選択画面を表示します。

度量衡変換

「度量衡変換」を選択して ENTER を押すと単位の選択画面（英語表記）を表示します。

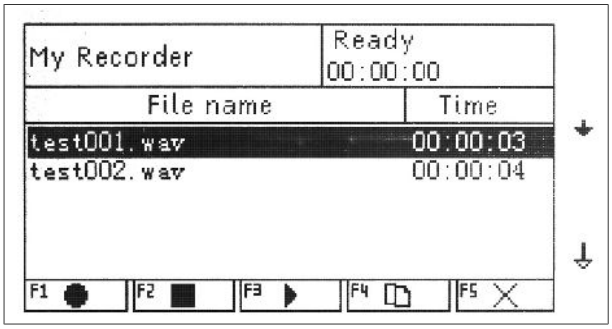
1. 変換する度量衡を選択して ENTER を押すか、項目番号の数字キーを押すと変換画面を表示します。
   1 2 単位選択
   ↑ ↓ 3 4 変換先/元の切換え
2. 数値を入力すると単位変換して表示します。



Size Conversion（サイズ表）

「Size Conversion（サイズ表）」を選択して ENTER を押すとサイズ表選択画面（英語）を表示します。
↑ ↓ 3 4 で表を選択して ENTER を押すとサイズ表を表示します。

16. ボイスレコーダー（音声メモ）



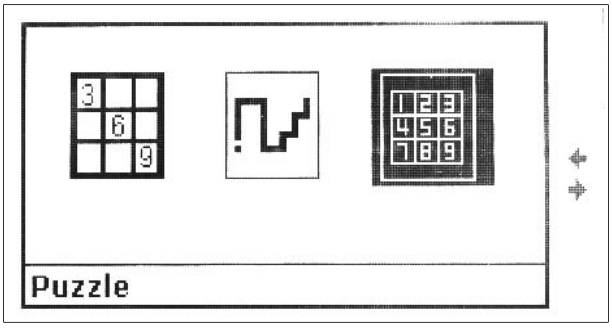
TOOLS を押してメニューから「ボイスレコーダー」を選択して ENTER を押すと操作画面を表示します。

録音再生の操作は ↑ ↓ 3 4 でファイルを選択してFキーの機能で行います。

- F1 ●：録音を開始します。
- F2 ■：録音を終了します。
- F3 ▶：選択したファイルを再生します。
- F4 ：選択したファイル名を変更します。
- F5 ×：選択したファイルを消去します。

録音データは wav 形式で保存します。本機で再生するだけでなく、PC に USB 接続（P.7）すると本機をリムーバブルディスクとして認識し、録音データはフォルダ：Record に収納されています。

17. ゲーム



TOOLS を押して「ゲーム」を選択して ENTER を押すと右図のゲーム選択画面を表示します。

1 2 でゲームを選択して ENTER を押すとそれぞれのゲームを開始します。詳細は本体内蔵の取扱説明書（英語）をご参照ください（→P.8）。

18. テキストファイルリーダー

本機を USB 接続（P.7）して PC から書き込んだ「EUC コードの英語テキストファイル（*.txt）」を表示することができます。詳細は本体内蔵の取扱説明書（英語）をご参照ください（→P.8）。